



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 ブルドックソース株式会社  
 コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 章子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 佐藤 貢一  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3668-6811

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	8,332	2.5	541	2.2	616	6.7	178	47.4
22年3月期第2四半期	8,547	0.4	530	60.7	578	52.9	338	124.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	2.57	
22年3月期第2四半期	4.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	19,622	14,298	72.9	206.58
22年3月期	20,097	14,520	72.2	209.79

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 14,298百万円 22年3月期 14,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		1.50		2.00	3.50
23年3月期		1.50			
23年3月期 (予想)				2.00	3.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.7	950	16.5	1,050	11.6	500	39.1	7.22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名 )、 除外 社 (社名 )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	69,774,401株	22年3月期	69,774,401株
-------------------	----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	23年3月期2Q	559,777株	22年3月期	559,510株
---------	----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	69,214,758株	22年3月期2Q	69,216,323株
----------------	----------	-------------	----------	-------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページを参照してください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)における我が国経済は、政府の経済対策や海外の新興市場への輸出回復により一部景気改善の兆しが見られたものの、円高や株安による先行きの不透明感や雇用、所得拡大に回復の兆しが見えないところから、企業の設備投資や消費者の購買意欲は減退し、引き続き厳しい状況となりました。

食品業界におきましては、猛暑による消費動向の活性化が一部期待されたものの、野菜の価格高騰が引き続き影響し直接的な食品関連の景況感の改善には繋がらず、依然として消費者の生活防衛意識による節約志向が続き、需要の低迷から価格競争も激化し、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、お客様に支持される価値ある商品づくりに取り組んでまいりました。

8月に家庭用商品では、ブルドックソースが「おうちで本格たこ焼屋さん(たこ焼専用ソース)」「おうちで本格たこ焼材料セット」を発売し、おうちで本格シリーズの品揃えを拡充し、さらに季節商品として「きのこづくし鍋スープ」「ねぎしゃぶ鍋スープ」を発売し、野菜の新しい食べ方を提供する新しい価値の商品を市場に投入しました。イカリソースは「炒めるソース」「串かつソース」を発売し、地域的な特色のある商品を市場に投入し、売上拡大を図りました。主力商品につきましても、販売店様の店頭での実演試食販売や料理教室・マスメディアなどを通じて、ソースを使用したメニューを積極的に紹介し、需要の拡大に努めてまいりました。

業務用商品では「ブルドック業務用焼肉のたれ味噌ベース」「ブルドック業務用焼肉のたれ醤油ベース」を発売し、本格的な味付けが手軽にできる商材として販売促進活動を展開する一方、業務用PB(プライベートブランド)商品については、ユーザー様のニーズに対応した商品開発と提案を積極的に展開した結果、売上は堅調に推移しました。

当社グループは、積極的な販売活動を進め、経費削減をはじめとする徹底した合理化・効率化をさらに推進し、競争力のある企業グループを目指してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は83億3千2百万円、営業利益は5億4千1百万円、経常利益は6億1千6百万円、四半期純利益は1億7千8百万円となりました。

売上高におきましては、対前年同四半期比2億1千5百万円の減少(前年同四半期比2.5%減)となりました。

営業利益におきましては、経営全般にわたる徹底した効率化等を実施した結果、対前年同四半期比1千1百万円の増加(前年同四半期比2.2%増)、経常利益におきましては対前年同四半期比3千8万円の増加(前年同四半期比6.7%増)、四半期純利益におきましては、投資有価証券評価損を計上したことなどにより対前年同四半期比1億6千万円の減少(前年同四半期比47.4%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億7千5百万円減少し、196億2千2百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が1億8千8百万円増加したものの、固定資産において、投資有価証券が6億4千6百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円減少し、53億2千4百万円となりました。増減の主なものは、流動負債において支払手形及び買掛金1億5千万円の減少並びに未払費用1億3千1百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千2百万円減少し、142億9千8百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金2億6千2百万円の減少などによるものです。これにより自己資本比率は、72.9%となりました。

### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億8千8百万円増加し、21億4千2百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億5千3百万円の収入(前年同四半期は、7億5千4百万円の収入)となりました。

これは主に、未払費用の減少額1億1千6百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益2億4千8百万円などによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億2千6百万円の支出(前年同四半期は、2億3千9百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3億2百万円などによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億3千8百万円の支出(前年同四半期は、2億2千4百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額1億3千7百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ平成22年4月30日に公表いたしました平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)を修正しております。

当該予想数値の修正に関する事項は、平成22年10月29日に公表いたしました「平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異の発生ならびに平成23年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 法人税等の算定方法

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより税金等調整前四半期純利益が4百万円減少しております。

#### 表示方法の変更

##### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「貸付金の回収による収入」は重要性が増加したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「貸付金の回収による収入」は8百万円です。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,167	1,978
受取手形及び売掛金	4,104	4,284
商品及び製品	338	359
原材料及び貯蔵品	72	80
仕掛品	29	27
繰延税金資産	299	299
その他	74	65
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	7,086	7,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,237	2,281
機械装置及び運搬具(純額)	980	998
土地	2,711	2,711
建設仮勘定	76	-
その他(純額)	93	102
有形固定資産合計	6,099	6,094
無形固定資産		
	81	89
投資その他の資産		
投資有価証券	5,219	5,866
繰延税金資産	742	565
その他	427	423
貸倒引当金	33	34
投資その他の資産合計	6,355	6,820
固定資産合計	12,536	13,004
資産合計	19,622	20,097

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,481	1,631
1年内返済予定の長期借入金	510	200
未払金	76	125
未払費用	853	985
未払法人税等	71	23
賞与引当金	211	216
その他	54	72
流動負債合計	3,259	3,255
固定負債		
長期借入金	1,090	1,400
退職給付引当金	782	731
長期未払金	173	173
その他	18	17
固定負債合計	2,064	2,322
負債合計	5,324	5,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,187	11,148
自己株式	394	393
株主資本合計	14,403	14,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	105	157
評価・換算差額等合計	105	157
純資産合計	14,298	14,520
負債純資産合計	19,622	20,097



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,547	8,332
売上原価	4,130	3,939
売上総利益	4,417	4,392
販売費及び一般管理費	3,887	3,850
営業利益	530	541
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	77	84
投資有価証券売却益	-	3
その他	3	5
営業外収益合計	81	93
営業外費用		
支払利息	18	17
減価償却費	13	-
その他	1	0
営業外費用合計	33	18
経常利益	578	616
特別利益		
固定資産売却益	-	0
過年度損益修正益	6	-
その他	0	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除却損	5	16
投資有価証券評価損	51	346
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	4
減損損失	1	-
その他	0	1
特別損失合計	59	368
税金等調整前四半期純利益	525	248
法人税、住民税及び事業税	186	70
法人税等合計	186	70
四半期純利益	338	178

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	525	248
減価償却費	226	252
減損損失	1	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	4
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	0
賞与引当金の増減額(は減少)	21	4
退職給付引当金の増減額(は減少)	24	51
受取利息及び受取配当金	78	84
支払利息	18	17
固定資産除売却損益(は益)	5	16
投資有価証券売却損益(は益)	-	3
投資有価証券評価損益(は益)	51	346
売上債権の増減額(は増加)	43	179
たな卸資産の増減額(は増加)	43	26
仕入債務の増減額(は減少)	42	150
未払金の増減額(は減少)	4	0
未払費用の増減額(は減少)	81	116
その他	31	63
小計	724	719
利息及び配当金の受取額	78	84
利息の支払額	32	32
法人税等の支払額	26	26
法人税等の還付額	10	9
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>754</b>	<b>753</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	139	302
有形固定資産の売却による収入	-	0
投資有価証券の取得による支出	37	169
投資有価証券の売却による収入	-	35
貸付金の回収による収入	-	21
関係会社出資金の払込による支出	50	-
その他	12	11
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>239</b>	<b>426</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	224	137
その他	-	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>224</b>	<b>138</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	289	188
現金及び現金同等物の期首残高	1,401	1,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,691	2,142

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計に占めるソース類製造販売事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業別の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社は、ソース類事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)  
該当事項はありません。